病　院　だより　2017年12月号　第361号

昭和大学病院　検索　　昭和大学病院附属東病院　検索

発　行　昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者　昭和大学病院長　板橋 家頭夫
編集責任者　広 報 委 員 長　中村 清吾
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
ＴＥＬ：03-3784-8000（代表）

90th SHOWA University 至誠一貫 Since 1928

TOPIC　脳神経外科　水谷 徹　診療科長のご挨拶

みなさんこんにちは！2012年４月より昭和大学病院 脳神経外科 診療科長を拝命しています水谷 徹と申します。私自身は、脳動脈瘤、頚部頚動脈狭窄、バイパス術など特に脳卒中、脳血管障害の手術、良性脳腫瘍の手術に力を入れてきました。特に**大型巨大動脈瘤**や**解離性動脈瘤**など治療難度の高い動脈瘤の経験が豊富です。多くの手術において安定した結果を出すためには、“安全、確実”が何より大切です。一人一人について、きめ細かく画像を検討しテーラーメイドの治療を取り入れていることと、開頭、血管内治療の両方ともに国内をリードする水準であることが当科の強みだと思っています。

また、脳腫瘍や機能外科も得意としており、今年はてんかん外科も立ち上げました。近隣医療機関の先生方のご期待に応えられるよう、患者さんに信頼されるように今後も取り組んでまいります。

●**経歴**：1959 年大阪生まれ、大阪育ち。1984 年 東京大学卒。都立多摩総合医療センター部長を経て、2012 年４月より昭和大学医学部脳神経外科 主任教授に就任。

●**モットー**：「工夫と挑戦」（工夫を積み重ね、挑戦し、最良の結果を目指す）

●**目指すべき医療人**：技術が勿論第一ですが、信念とバランス感覚があり、コミュニケーションを大切にする人

水谷 徹

特集　冬が怖い脳卒中・脳出血

脳卒中は予防が大切です。特に冬は発生が多いので、血圧管理や生活管理がもちろん大切ですが、治療によって未然に予防できる脳卒中は、脳動脈瘤と動脈硬化による頚部頚動脈狭窄です。

■未破裂脳動脈瘤

日本、特に東京では MRI の普及率が世界一と言われています。脳ドックで MRA によって動脈瘤が発見される率は数％程度です。多くは 3mm 未満です。3mm 以上のものは破裂の可能性が０ではありません。破裂すると脳卒中の中でも最も重症のくも膜下出血となり、発見された場合は経過観察、生活指導も含めて、脳神経外科医から詳しい説明を受けることが必要です。当科での過去５年の未破裂動脈瘤の治療の安全性は血管内治療、開頭術を含めて 99%レベル。死亡率は０です。

■頚部頚動脈狭窄

動脈硬化（プラーク）が頚動脈に“水道の水垢”のように蓄積し、ちぎれて脳に流れると脳梗塞をきたす病態です。頚動脈エコーで、狭心症、長期高血圧、糖尿病、高脂血症など動脈硬化の因子の高い方に発見されます。60%以上の狭窄がある方は年間約 2%で脳梗塞になり、動脈硬化を取り除く手術（内膜剥離術）やステント術の治療を検討することが必要です。当科は年間 60-70 件の治療を行っており、過去５年で 99%レベルの安全性です。いずれの疾患も当科が得意とするところです。ご紹介とご受診をお待ちしています。

温かみのある診療をモットーに
患者さんに負担の少ない低侵襲手術の提供

診療体制

前立腺癌に対しては密封小線源療法を導入し、わが国でも有数の症例数を誇り、現在は関連の江東豊洲病院との協力体制で実施しています。同様に外照射療法に関しては IMRT（強度変調放射線治療）をいち早く導入しており、最近は高線量療法（HDR）も導入しています。また、2013 年からはダヴィンチによるロボット支援手術を開始しており、各種手術法、各種放射線療法と全ての治療法に対応している施設です。腎癌に対しては、可能な限り腹腔鏡を中心とする低侵襲治療とし、腎部分切除術による腎温存手術を心がけています。転移性腎癌に対しては、分子標的治療薬、新規免疫療法、手術療法など専門医が集学的治療に取り組んでいます。内視鏡治療の実績も日本有数です。自然排石困難な尿路結石に対しては体外衝撃波結石破砕術や経尿道的尿管結石砕石術、軟性尿管鏡を使用する f-TUL や経皮的結石破砕術を症例に応じて行っております。

特徴的な治療領域

・ロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術

特色１：腹部に鉗子を挿入する小さな穴を４～６か所開けるだけで手術痕はほとんど目立ちません。

特色２：腹部を大きく開かないため、手術による出血も少なく、術後の感染症を引き起こすリスクも減らすことができ、術後の痛みも少なく回復も早く、入院期間の短縮に繋がります。

特色３：医師の手の細かな動きを、鉗子が正確に再現できることで、繊細な手術操作が可能となり、安全で確実な手術が施行できるようになり、より複雑な手術操作も可能となります。

特色４：術者はサージョンコンソールと呼ばれる機械に座り（下記右写真）、遠隔操作によって手術を行います。これにより長時間の手術における医師の肉体的負担を軽減することができます。

・ミニマム層による腎部分切除術

（ダヴィンチで切除可能な腎腫瘍に対しては、今後ロボット支援下腎部分切除術も施行する予定）

泌尿器科　診療科長：小川　良雄（Ogawa Yoshio）

趣味：読書（歴史物）、ドライブ

泌尿器科診療のニーズは年々高まっています。前立腺がんや他の尿路性器悪性腫瘍の患者数は著しい増加傾向にあり、超高齢化社会に伴い、前立腺肥大症や神経因性膀胱、過活動膀胱といった下部尿路症状、その他尿路感染症、男性性機能障害など、泌尿器科が扱う良性疾患も増えています。当科では、ご紹介いただいた患者さんに関して、検査・手術等治療の後に状態が安定され、定期経過観察となりました際には、ご紹介元や当院と連携しているお近くの医療機関に、日常診療をお願いするよう逆紹介、医療連携を積極的に進めております。

今月の熱血医療人　Vol.15「社会福祉士（ソーシャルワーカー）」

～このコーナーでは専門資格を有している熱血メディカルスタッフの方を紹介します～

Q．患者さんに対してのメッセージをお願いします。

社会福祉士とは「高齢者福祉」「障害者福祉」「生活困窮者」「児童福祉」等の相談、調整を行う福祉分野の国家資格を持つ専門職です。病院の中で働く社会福祉士は医療ソーシャルワーカーと呼ばれ、現在、総合相談センターで６名のソーシャルワーカーが大学病院・東病院の患者さんの支援を行っています。総合相談センターには退院調整看護師、事務スタッフ、ソーシャルワーカーが常駐し、医師、薬剤師、栄養士等は兼任で、院内院外の相談の窓口として多職種協働で様々な社会的な問題解決の支援を行っています。

【総合相談センターの皆さん】

Q．どういった専門資格でどういった仕事をしているのか。

私たちは患者さんが安心して治療に取り組めるように、また治療が終了した患者さんが安心して退院できるように、福祉制度を活用し、心理社会的な問題解決のお手伝いをしています。例えば①医療費の支払い等の経済的な問題②障害が残ってしまった場合や難病の診断を受けた場合の制度利用③介護が必要な高齢者（原則６５歳以上）のサービス利用④家族の介護や養育の問題で入院、通院が困難というような家族間の調整⑤治療しながら仕事を続ける上での就労相談等、治療を進める上で起きてくる様々な心配事への解決のお手伝いをしています。どうぞご活用下さい。

開催報告　ボイラー祭が行われました

寒さが段々と厳しさを増していくこれからの季節に、昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院では建物内の空調設備を冷房から暖房運転に切り替えます。その暖房運転の要となるのが高温の蒸気を発生するボイラー設備です。そのため、冬場の主力熱源として日々稼働し続けるボイラー設備に携わる職員の健康と安全を祈願して毎年、この時期には“ボイラー祭”が執り行われます。ボイラーの本格的な稼働にあたって、機器の安全運転と職員の健康を祈願する儀式を今年度も無事終了しました。

【暖房への切り替え操作をする板橋病院長】

【祈願する儀式の様子】

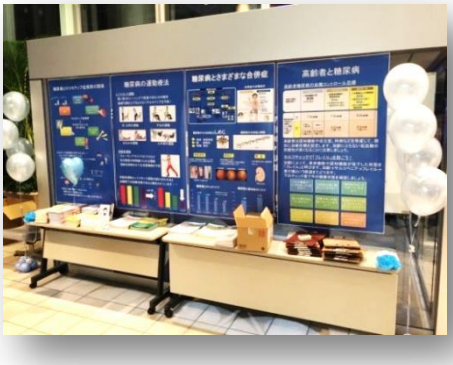
文責：管理課

開催報告　世界糖尿病デーイベントが実施されました

11 月 14 日は世界糖尿病デーです。世界保健機構（WHO）は増え続ける糖尿病患者やその合併症による死亡に抑止をかけるため啓蒙活動に取り組んでおり、インスリンを発見したカナダの医師バンチングの誕生日を世界糖尿病デーと制定し、世界中で糖尿病予防に関する様々なイベントがおこなわれるようになっています。

当院でも糖尿病代謝内分泌内科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士などの病院スタッフが趣向を凝らし、糖尿病デーに先んじて、11 月９日にイベントをおこないました。多くの患者さんやご家族に参加していただき、大盛況のうちにイベントを終えることができました。162 名の方に HbA1c を無料で測定していただき、また今年はロコモティブ症候群のリスク度も一緒に測定しました。「勉強になった」、「筋力が低下し始めていることがわかってよかった」など多くのうれしい意見をいただきました。このような啓蒙活動を通して、少しでも健康寿命の延長につながれば素晴らしいことだと思います。

【無料 HbA1c 測定コーナーの様子】



【糖尿病とロコモに関する常設展示】

文責：糖尿病・代謝・内分泌内科

開催報告　「キレイの力」プロジェクト～女性に向けたウィッグ贈呈活動～

11 月 22 日（水）昭和大学病院中央棟３階ブレストセンターにて、NPO 法人キャンサーリボンズと P＆G パンテーン、スヴェンソンによる「キレイの力」プロジェクトが実施されました。当プロジェクトは看護学生から寄付された髪を使った医療用ウィッグを、がん治療に伴う脱毛により精神的ダメージを受けるがん治療中の女性たちに、自分にあった質のいい（セミオーダー）医療用ウィッグを無償でお贈りする活動です。患者さんからは、“治療をしながら仕事や趣味を続けていきたい”、“キレイの力で勇気をもらい、諦めかけていたことをやりたい”などの思いが寄せられています。

この日は４名の患者さんが参加し、和やかな雰囲気の中ウィッグの試着をしました。参加された方は、自分に似合うウィッグを試着しながら、明るい表情でスタッフとお話をしていました。12 月５日(火)には患者さんへのウィッグの贈呈がブレストセンターにて行われる予定です。

【ウィッグを試着する様子】

文責：管理課

開催報告　院内コンサートが行われました

10 月 27 日(金)15：00 より、東病院 3 階デイルームにて、第 25 回院内コンサートが開催されました。地元の多摩で 45 年歌い続けている「多摩男声合唱団」のメンバーで、じーじーになっても歌い続けている「ジージーズ」の出演でした。

軽妙で豊かな歌声で、線路は続くよどこまでも・北の宿から等で会場を盛り上げ、赤とんぼ・川の流れのように・ふるさとを患者さんと一緒に大きな声で歌い、明るい笑顔のコンサートになりました。

患者さんからのコメント

久々に大きな声で歌いました。
心が清々しました。有難う御座いました。

一緒に歌えるとは思わなかった。
歌声喫茶を思い出した。楽しかった。

ご報告　一般撮影装置が更新されました

昭和大学病院附属東病院 2 階放射線室の一般撮影装置が更新されました。富士フィルムメディカル社製 の DR BENEO-Fx （図 1）が導入されました。新しい一般撮影装置は、高感度・高画質 FPD（フラットパネルディテクタ）を搭載し、低線量撮影で画像を提供することができるようになりました。また、リアルタイムで撮影画像の確認が可能となり、撮影後、画像確認のために患者さんをお待たせすることがなくなりました。さらに、今まで東病院で撮影することができなかった全背椎・下肢全長の撮影が可能となりました。1 回の操作で複数枚（立位で最長 140cm の長尺撮影が可能）の画像を撮影し、画像合成を行うことで全背椎や下肢全長を 1 枚の画像で表示することができます(図 2)。

新しい一般撮影装置になり、患者さんにとってより安心で安全な検査を提供して参ります。よろしくお願い申し上げます。

図-1　DR-BENEO-Fx（富士フイルムメディカル社製）

図-2　長尺撮影

文責：放射線室

お知らせ　電子カルテ導入と年末年始の診療体制について

電子カルテ導入準備室委員会　委員長　大嶽　浩司

2018 年より昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院に電子カルテが導入されます。

病棟では１月１日（月）より、外来では１月４日（木）より運用が開始されます。電子カルテ導入により、病院間、部門間、診療科間の連携が強化され、よりいっそう安全で安心な高度医療を提供できる体制となります。新体制に向けて現在院内では操作研修やリハーサルなどが行われ、万全の体制で開始できるよう準備をしております。しかしながら、外来での案内板表示や一部の診療の運用、患者さんの動線などが変わりますので、ご留意ください。

また､現行のシステムから新システムへの移行期間である 12 月 29 日(金)8 時 30 分から１月２日(火) 8 時 30 分までは、救急医療センターの診療を一部制限せざるをえないこととなり、ご不便をおかけ致します。（下表参照）また電子カルテ導入後、暫くの間は診察するにあたってお待たせする可能性がございます。

大変申し訳ございませんが、これまで以上に質が高く安全な医療を提供する体制の整備のためですので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます 。

＜電子カルテ導入に伴う休診期間＞

日付	12/28（木）		12/29（金）		12/30（土）	12/31（日）	1/1(月)	1/2（火）		1/3（水）	1/4（木）	
時刻		17:00	8:30					8：30			8：30	
外来診察	←				休　診							→
救急診療			←		休　診			→				

～年末年始外来診療の休診のお知らせ～

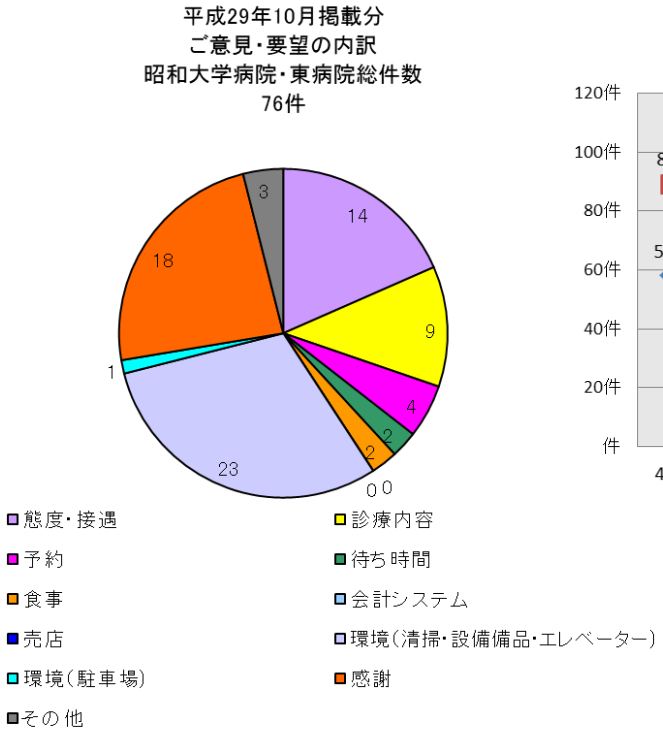
昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院は、年末年始の外来診療を下記の期間休診いたします。

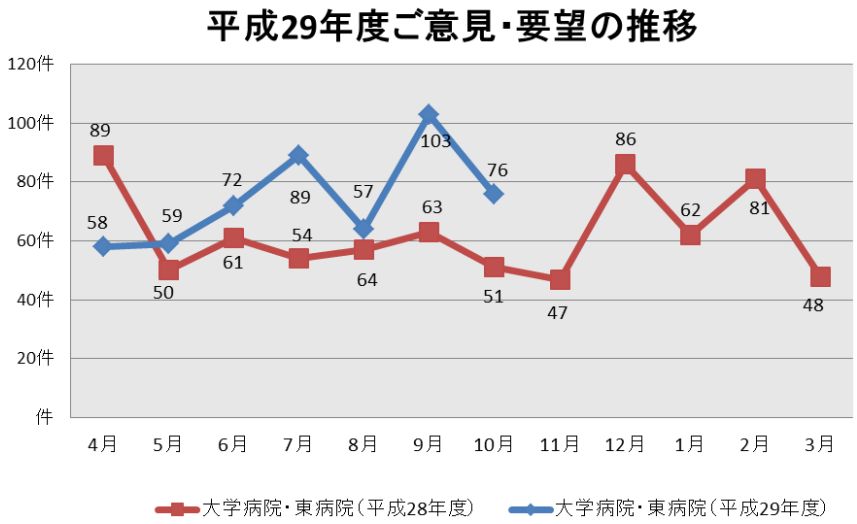
平成 29 年 12 月 29 日（金）～平成 30 年１月３日（水）

ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

患者さんのご意見・ご要望

ご意見・要望	回答	回答部署
採血の後の止血バンドについて、暑い時はバンド裏のペンのインクの文字が汗ばむ腕に転写されて、なかなか落ちないことがありました。	この度は、止血バンドの件で大変ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。 これまで、止血バンド裏にマジックで所有部署等を明記しておりましたが、本年 10 月より記入をやめ、順次入れ替えております。 今後は止血バンドにより、インク文字が転写されることはないと思われますので、ご安心下さい。 今回、貴重なご意見を頂戴し、ありがとうございました。	採血室
大学病院にＰＥＴがないために、他の病院で行なっているなんて、考えられません。 他の患者さんのためにも、ぜひ、導入のご検討を願います。	この度は、大変貴重なご意見を頂きましてありがとうございます。ＰＥＴ(検査)とは、陽電子放出断層撮影法のことで、心臓、脳などの体の中の細胞の働きを断層画像として捉えます。これにより病気の原因や病巣、病状を的確に診断することが出来ます。 ＰＥＴ導入に関しまして現在検討を進めております。しかし、導入においては、場所や時期、放射線の管理などの多くの課題が残されております。特に何か新しいものを導入するのには、利用できる土地が限られているため、ほかの何かを削らなければならなくなります。 直ちに導入することが出来きず、ご期待に添えず申し訳ございませんが、今しばらくは必要に応じて他施設での紹介検査をお願いしています。今後も引き続き患者さんのために、導入に向けた検討を進めて参ります。何卒、ご理解くださいますようお願い致します。	放射線室





イベント情報　院内コンサートについて

【第83回院内コンサート】
日時：平成29年12月16日（土）17:00～17:45
場所：大学病院中央棟1階ロビー
出演：ムーラン　クリスマスコンサート

【第26回昭和大学病院附属東病院院内コンサート】
日時：平成29年12月22日（金）　15:00～15:30
場所：昭和大学病院附属東病院3階デイルーム
出演：カンタービレ7　オカリナの演奏

編集後記

師走、年末行事が始まります。忘年会やクリスマス、仕事納めなどが続き、気づけば大晦日、除夜の鐘、新年へと忙しく時が経つのが 12 月。院内コンサートや一部病棟でのキャンドルサービスなどでお心が和みますよう願います。新年からは電子カルテの導入に伴い皆様には戸惑われることもあるかと推察しますが、真心と誠意をモットーに診療・看護・検査の向上に寄与することが私どもの目指すところです。感謝をこめて新年も宜しくお願いします。

消化器内科　吉田　仁

昭和大学病院･附属東病院の理念

- 患者さん本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

ご意見・要望につきましては、メールアドレス：tayori@ofc.showa-u.ac.jp までお願いいたします。

病院広報委員会委員：　荒川 千春、飯田 真由、磯飛 雄一、稲垣 克記、大嶽 浩司、佐藤 久弥、白井 敦、鈴木 隆、中村 清吾、平野 勉、結城 祐磨、吉田 仁、渡邊 聡（50 音順）